

校長及び教員としての資質の向上に関する指標

(3) 養護教諭に必要な事項(専門領域)

ライフステージ	教職着任時	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ	第4ステージ	
		初任～教職経験5年次	教職経験6年次～10年次	教職経験11年次～20年次	教職経験21年次以降	
		基礎形成期	伸長期	充実期	発展期	
資質能力にかか る項目	養護教諭として求められる基礎的な知識や技能を身につけている。	実践力を磨き、基礎・基盤を固める。	知識や経験に基づいた実践力を高める。	多様な知識と経験に基づいた実践を展開するとともに、若手教員の指導を行い、学校の中核的役割を担う。	高い専門性と豊かな経験を持ち、高度な実践を展開するとともに、指導力を発揮し、学校づくりや教育活動をリードする。	
養護教諭に必要な事項(専門領域)	保健管理	○学校保健安全法を理解し、保健管理に関する基礎的な知識・技術を身につけている。	○児童生徒の心身の健康課題を把握し、教職員や関係機関と相談しながら対応できる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、教職員や関係機関と連携して対応できる。	○保健管理にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の心身の健康課題の解決に向け、校内において指導的な役割を担うことができる。	○保健管理にかかる高い専門性を活かし、学校、家庭、地域、関係機関を連携させて、的確に対応する組織づくりができる。
	保健教育	○保健教育にかかる専門性や学習指導要領に関する基礎的な知識を有している。	○児童生徒の実態から健康課題を捉え、学級担任等と連携し、専門性を活かした保健教育ができる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に把握し、その解決に向けた保健教育を実践するとともに、自己の取組を評価し、改善を図ることができる。	○組織的な保健教育を推進するために、教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、養護教諭の視点を活かして他の教職員の実践に対し、指導・助言を行うことができる。
	保健室経営	○保健室経営における養護教諭の役割を理解するとともに、保健室経営計画を立案する知識を有している。	○学校教育目標をふまえ、児童生徒の心身の健康課題に応じた、保健室経営計画を作成し、計画に従って実践できる。	○学校教育目標をふまえ、他の教職員と連携し、組織的な保健室経営を行うことができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営計画に従って実践するとともに、自己評価を行い、改善を図ることができる。	○学校教育目標の実現に向け、保健室経営から得られる情報を校内外に発信することをおし、教育活動全体の充実を図る取組に参画することができる。
	健康相談	○学校保健安全法における健康相談の位置づけや、健康相談の基本的プロセス(課題の背景把握、支援方針・支援方法の検討、校内外の連携など)を理解している。	○児童生徒の心身の健康課題を捉え、学校医等の専門職や保護者と連携を図りながら、適切な健康相談を実施することができる。	○児童生徒の心身の健康課題を的確に捉え、学校医等の専門職や保護者と連携し、校内の支援体制づくりができる。	○健康相談にかかる高い専門性を身につけ、児童生徒の支援体制の充実を図るために、教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。	○教職員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うとともに、校外員や地域など校内外の連携におけるコーディネーターとしての役割を担うことができる。
		○カウンセリングマインドを持って、児童生徒の相談を受けられることができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員と連携し、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	○カウンセリングマインドを持って、他の教職員に指導・助言を行いながら、児童生徒の実態に応じた適切な対応ができる。	
保健組織活動	○保健組織活動の意義と学校保健に関する校内外の協力体制の重要性を理解している。	○校内の保健組織活動の企画、運営に参画できる。	○校内の保健組織活動において、中心的な役割を担い、組織の活動の改善を図ることができる。	○保健組織活動を地域ぐるみの取組につなげるため、近隣の学校や関係機関との連携を図ることができる。	○広域的な保健組織活動の活性化に向けて、他の教職員や保護者、関係機関に対し、指導的役割を担うことができる。	